

第10回常任理事会報告

日 時 平成22年2月15日（月）午後2時～午後3時50分
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 住友雅人、井出吉信
<総務理事> 黒崎紀正
<常任理事> 川添堯彬、佐藤田鶴子、山崎芳昭、福田仁一、
寺下正道、上西秀則、伊藤公一、栗原英見、
荒木孝二、佐々木啓一
日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男
欠席者 <常任理事> 江里口 彰、後藤滋巳

[議長 黒崎総務理事]

1. 開 会

住友副会長より、開会の辞。

2. 挨拶

江藤会長より挨拶が行われた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

黒崎総務理事より、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

一般会務報告（平22年1月12日～同2月14日）

第9回常任理事会報告（平成22年1月12日開催）

2) 会計現況報告

山崎常任理事より、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

□平成 21 年度学会会計収支計算書(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日)

3) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶医療技術評価に係る審議結果等について

黒崎総務理事より、標記について、資料に基づき報告。

▶内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書について

江藤会長より、厚労省に設置された標記検討会において、「内服薬処方せん記載の在るべき姿」に関する報告書が取りまとめられた旨資料に基づき報告。

本学会の対応としては、厚労省の周知依頼を受けて、本学会ホームページ上に当該通知内容を掲示するとともに、傘下の分科会に対してもホームページ及び機関誌を活用した周知依頼を行った旨補足説明。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 専門医制度の在り方の検討

▶日本歯科放射線学会が定める歯科医師の専門性に係る資格の名称の変更について

黒崎総務理事より、標記について、日本歯科放射線学会が定める歯科医師の専門性に係る資格の名称を「歯科放射線科専門医」から「歯科放射線専門医」へと変更したことについて、厚生労働省より通知があった旨資料に基づき報告。

▶専門医制協議会について

黒崎総務理事より、標記について、委員名簿に基づき報告。

(4) 学会機構の改革

特になし。

(5) 国際連携の推進

▶ 中華口腔医学会への企業制作 DVD 等の提供について

江藤会長より、標記について、社団法人日本歯科商工協会宛依頼文に基づき報告。

(6) 歯科医学未来構想の構築

▶ 「歯科医療の未来を創る」について

佐藤常任理事より、冊子「歯科医療の未来を創る」の配付先について、資料に基づき報告。

4) 会長報告

江藤会長より、日歯理事会における報告事項及び協議事項について、資料に基づき説明。

5) その他

▶ 中医協報告

住友副会長より、平成 22 年度診療報酬改定に向けた中医協における協議経緯について、資料に基づき説明。

▶ 「子供の健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」要望書について

江藤会長より、歯の先天異常を標記調査の対象に加えることについて、小沢鋭仁環境大臣に要望書を提出した旨資料に基づき報告。

なお、要望内容については、近日中にも、エコチル調査に関する検討会の佐藤洋座長（東北大学大学院教授）に陳情することを追加報告。

▶ ISO/TC106 活動への協力について

江藤会長より、日歯に対し、ISO 会議における磁性アタッチメント規格への対応について、江藤会長及び石上日本磁気歯科学会長の連名により要望した結果、日歯から、厳しい財政事情から本要望に添え兼ねる旨の回答があつ

た旨資料に基づき報告。

また、日歯回答内容は、日本磁気歯科学会宛に通知していることを補足説明。

▶国際歯科研究学会日本部会（JADR）報告

栗原常任理事より、標記について、2010年度第1回JADR理事会の議事次第に基づき報告。

○江藤会長より、第22回日本歯科医学会総会（大阪市）の開催に併せて、傘下分科会の学術大会や総会を開催することについて、同大会の川添会頭と連携を取りながら検討していきたいと説明。川添常任理事（総会会頭）より、予算や人員収容能力のある施設の有無や、分科会の事情なども考慮した上で、検討する必要があると説明。

○伊藤常任理事より、専門分科会及び認定分科会の新規加入・登録に伴う、日本歯科医学会誌頁数の増加に対する予算措置について質問があった。山崎常任理事より、予算を精査し検討したい、と回答。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶平成22年度プロジェクト研究について

佐藤常任理事より、標記研究テーマ案を各分科会並びに日本歯科医師会に公募したところ、計47題の応募があった旨資料に基づき報告後、テーマの選定について諮られた。

協議の結果、学会四役、関係役員及び学術研究委員会正副委員長による学術研究事業打合せ内で選定作業を行うことを決定した。

▶高齢者の口腔乾燥症に関するアンケート調査の協力依頼について

佐藤常任理事より、日本歯科薬物療法学会が日歯会員に対し標記アンケート調査を行うため、本学会から日歯に対し、協力依頼を行うことについて諮られ、協議の結果、承認。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 専門医制度の在り方の検討

特になし。

(4) 学会機構の改革

特になし。

(5) 国際連携の推進

特になし。

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 平成 22 年度日本歯科医学会諸会議の開催について

黒崎総務理事より、標記について、資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認。

(2) 医道審議会死体解剖資格審査分科会臨時委員の推薦について

黒崎総務理事より、標記について、資料に基づき諮られ、協議の結果、諏訪文彦/大阪歯科大学教授の推薦を了承した。

(3) 心肺蘇生法委員会委員の推薦について

黒崎総務理事より、標記について、資料に基づき諮られ、協議の結果、嶋田昌彦/東京医科歯科大学教授の推薦を了承した。

(4) 医事訴訟における鑑定人派遣について

江藤会長より、標記について、資料に基づき諮られ、協議の結果、佐藤慶太/横浜地裁医事訴訟裁判専門委員と連携を取りながら、鑑定人を派遣することとした。

(5) バイタルサインセミナーについて

黒崎総務理事より、日本歯科麻酔学会と都道府県歯会が共同で開催する標記セミナーについて、本学会から日歯に対し、同セミナー開催を提案する旨資料に基づき諮られ、協議の結果、承認。

(6) 後援名義貸与について

黒崎総務理事より、標記について、資料に基づき諮られ、協議の結果、後援名義を貸与することとした。

(7) 役員派遣について

黒崎総務理事より、標記について、資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認。

3) その他

○佐々木常任理事より、文部科学省による日本補綴歯科学会の監査の中で、日本歯科医学会の助成金や分担金やプロジェクト研究資金の会計上の取り扱いについて質された旨報告。

5. 閉 会

井出副会長より、閉会の辞。